



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするろ〜ど

がつごう
2018/6月号

かいほうし
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよたすあ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが かつどう 活動を
つづ 続けています。

げっかん がつ 〜サロン月間カレンダー6月〜

しんかいちよう 「サロン新会長あいさつ」

ぶんかこうりゅうかつどう ■文化交流活動

ふちゅうこくさいこうりゅう かいちよう たかみまさあき 府中国際交流サロン会長 鷹見正昭

6月15日(金) 午前10時30分～午後1時30分

府中国際交流サロンは、今年で23年を迎えます。

「郷土の森散策」

平成6年に、府中市内で国際交流活動をしていた6

入園料：市民150円 市外の方：300円

団体が「国際交流サロン実行委員会」を立ち上げて、

6月22日(金) 午前10時30分～12時

日本語を教える活動を始めました。この活動が認め

「ダンス教室(ハワイアン)」(15名・無料)

られて、翌年の平成7年に府中市から会場の提供と、

6月30日(土) 午後1時30分～4時30分

活動費の支援を受けて、現在の「府中国際交流サロ

「料理教室」(36名・費用1,000円)

ン」がスタートしました。

場所・プラッツ6階料理室

府中市には現在5,170人ほどの外国人が住んでお

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

ります。そのうち、当サロンには約300名の学習者が

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

通っています。その外国人の方々が慣れない環境で

ボランティア・スキルアップ講習会

生活していくうえで、基本的な日本語を学習する場

【第2回目】

として、当サロンの大きな役割があります。

テーマ：「学習者のニーズの把握とニーズに合っ

当サロンでは、日本語を学習するだけにとどまら

た教材選び」

ず、日本の文化に触れて、日本社会に関心を持って

講師：柏崎雅世先生(サロン教授法研修講師)

いただくための催しも定期的に行っております。また、

対象：サロン・ボランティア(学習者も可)

日常生活での相談事にも対応しております。これら

日時：6月16日(土) 午後2時～4時

の目的は、早く日本の社会に溶け込んでもらい、支障

場所：サロン3階第2会議室(学習会の部屋)

なく生活ができるようになっていただきたいからで

参加費：無料

す。そして、府中を、日本を好きになってもらいた

いと思います。

★詳しいことは「みんなの広場」の「スキルアップ講習会」をご覧ください。

これから府中国際交流サロンは、外国の方々との

交流の「接点」として、途絶えることなく活動し

続けたいと思います。また、困っている外国人の方が

何時でも立ち寄れる「場」として、常にサロンの門戸

を開いて歓迎していきます。

「サロンの新体制が決まる」

4月11日に開催された今年度第1回目の実行委員会において、府中国際交流サロンの新体制が決まりました。野川豊子さんが今年3月で会長を退任されたことに伴い、新会長に鷹見正昭さんが選出されました。一部部会でも新しい部会長、副部会長が選出されました。サロンの新しい実行委員は以下のとおりです。

「平成30年度サロン実行委員一覧」

【役員】

会長	鷹見正昭	(会計兼任)
副会長	和田泰弘	会計 島田ふみえ
副会長	平島 巖	監事 松木義信
副会長	安島文江	監事 池谷清子

【各部会委員】

日本語学習部会

月曜午前部会	部会長	進藤由理子
	副部会長	桑島宗利
	副部会長	小沢智子
月曜午後部会	部会長	平島 巖
	副部会長	川口哲也
	副部会長	久保田明美
水曜午後部会	部会長	濱口 晃
	副部会長	田村弘枝
	副部会長	小泉八千代
	副部会長	長谷川愛子
金曜午後部会	部会長	永江正美
	副部会長	安島文江
	副部会長	福島直子
金曜夜部会	部会長	若狭 裕
	副部会長	井原博美
	副部会長	斉藤久子
	副部会長	里村 恵

研修部会

部会長 萱生由美子
副部会長 大島洋子

企画部会

部会長 石田正子
副部会長 藤平洋子
副部会長 千葉幸代
副部会長 市村秀子

文化交流部会

部会長 橋本せい子
副部会長 里村 恵
副部会長 山口ヴァレリー

生活情報支援部会

部会長 野川豊子
副部会長 橋田 寛

会報部会

部会長 和田泰弘
副部会長 堤 林初音



世界の文化

「日本語発表体験記」

イスワル チャンドラ ヤダウ (ネパール)

2018年3月10日、私は「農工祭」というタイトルの日本語スピーチをしました。これは初めての日本語のスピーチでした。

プログラムの司会を務めていた朴明賢さんは韓国人でしたが、彼女の話す日本語は大変上手で日本人のようでした。彼女はスピーチプログラムを始め、スピーカーの仕事や趣味などを簡単に紹介をしました。さまざまな国からの私を含めて合計15人のスピーカーがいて、それぞれ興味深く有益なトピックを話しました。プログラムのすばらしさは、世界中のさまざまな国からの15人の講演者の参加でした。異なるスピーカーによって話された興味深い話題も、プログラムの魅力点でした。スピーカーの多くは、話題を説明するためにPPT(パワーポイント)

のスライドを使用しました。

私はスピーチはあまり良く話せませんでした、スピーチの内容で多くの聴衆を引き付けるのは面白かったです。全体的に、私は企画が優れていたと思います。すべてうまく整理され、適切に管理されてきました。そのプログラムを成功させるために個々に貢献したのは、サロンのボランティアでした。私はボランティアの先生すべてに心から感謝します。学習者は主にスピーカーに参加しましたが、聴衆として参加してくれた学習者もいた事は満足でした。最後に、花束と賞品がスピーカーにわたされ、グループ写真を撮って、発表会は成功裡に終了しました。

発表会のあとのパーティーは素晴らしいものでした。パーティー中に提供された食べ物は、本当においしかったです。日本語学習発表会は私の日本滞在の忘れられない思い出になるでしょう。日本語でコミュニケーションすることに自信ができました。私はチャンスがあれば再び参加することを楽しみにしています。

グエン ティ ラン(ベトナム)

皆さんこんにちは。

私はランと申します。ベトナムから参りました。今年の発表会に参加しました。発表の体験談を話したいと思います。私は作文を書くのが苦手ですから発表するのを勧められたときちょっと遠慮しました。けれども先生に勧められて発表会を申し込みました。最初の原稿は間違いも多かったですが先生のおかげでうまくできました。発表するときは本当に緊張して心もドキドキしましたが終わった時はうれしかったです。発表会は私にとって役に立ちました。作文はとても勉強になりました。友達もできて自信もつきました。皆さん機会があったら発表会に参加しましょう。



呉 宇航(中国)

会議室に来て、たくさんの人が話していました。1時間後に発表会が始まる。5番目に私の文章を発表して、この時の気持ちはとても緊張しました。文章の内容は私の日本での4年間の学校生活について。4年でたくさんの面白い話があった。発表会が終わってみんなで記念撮影を始める。写真をとってから皆さんは後ろで食べながら話します。食べ物の中にサンドイッチがあります。サンドイッチはとてもおいしいです。みんなと話をし、私は家に帰りました。最初の緊張が今の喜びになり、私は大きな収穫があった。日本に来てもう一つの私になった。私はとても楽しかったです。

私のふるさと ~3~

「天津の、三つの絶品」

李 研(中国)

私のふるすとは、中国天津市です。中国の首都北京の東南方面にあり、渤海湾という海に面しています。人口は1500万人あまり、のんびりしている小さい町です。

日本に来てから、天津から来たと話したら、多くの日本の方から「天津ハン」と「天津あまぐり」のことを聞かれます。

天津あまぐりはあります。近くの河北省では多く栗が植えられ、小粒で甘いです。日本の中華街などで売っている大きい栗とは違います。日本で唯一「味が似ている」と思った甘栗のお店が今のところ一軒だけありました。ただし、栗はいつもあるのではなく、中秋の名月(9月下旬)から春(3月前後)までしか市場に出回りません。他の季節では食べられません。

「天津ハン」というものは何か未だに不明です。天津にはそういう食べ物がありません！天津には美味しい食べ物がたくさんありますが、ここでは有名な「3つの絶品」を紹介します。

1つ目は「肉まん」です。特に有名なのは「狗不理(犬食わず)」というブランドです。餡は豚肉と海鮮

の2種類があり、ぷりぷりして美味しいです。2つ目は「マーファー」です。小麦粉をぐるぐるねじってから油で揚げたあと、砂糖やドライフルーツを撒きます。固くて甘いんです。日本人の口に合わないせいか、日本では売られていません。3つ目は「ジャーゴ」です。丸いお餅の中にアンコが入っていて、さらに唐揚げします。外はパリパリで中はもちもち、甘すぎなくて美味しいです。地元の朝ご飯として不可欠です。皆さんはもし天津に寄る機会があれば、ぜひ肉まんとジャーゴを食べてみてください。



マーファー



ジャーゴ

「故郷のだんじりに会えました」

月曜午前ボランティア 山下英子

5月4日、くらやみ祭りに学習者、ボランティア、その家族の皆さんの16名が参加しました。国際交流サロンのネーム入り半纏を羽織り、三本木公園の二の宮の会所へ向かいました。そこでは山車の体験、大太鼓の試し打ちをしました。直径2mの大太鼓の鼓動は、地面を轟かせるほどの大迫力で、私の心臓まで振動が伝わってきました。その後は、地域の方々との交流です。会所に戻って休憩されている方々にこの度のお礼も兼ねてお酌をして回りました。学習者の方にとってお酌するのは初めての体験で、少し恥ずかしかったようです。

夕方は、寿町の山車行列に参加しました。寿町の山車は、屋根に沢山の提灯が装飾された煌びやかな様です。そして、他の山車と出会う度、前方を斜めに担ぎ上げるアクションを見せ、沿道の皆を盛り上げてくれました。

この山車は、1995年1月17日の阪神淡路大震災で奇跡的に残った唯一のもので、2003年に神戸市東灘区のだんじり会から譲り受けたそうです。私は神戸市東灘区出身なので、まさかこんなところで神戸のだんじりに巡り会えるなんて、、、と驚きました。水道も電気もない避難生活を余儀なくされたあの震災を、目の前のだんじりも乗り越え、故郷を離れた地で、こうして寿町の皆さんに愛され、活躍している姿を感慨深く思いました。このお祭りを通じて、参加されたサロンの皆さん、地域の方と交流を深める事ができ、また故郷のだんじりにも偶然出会えました。ありがとうございました。



山車をひく山下さん（左）



元神戸東灘区のだんじり

とう こう 投◇稿

じょうず
「もっと上手になってから」

げつようご こ おかきとこ
月曜午後ボランティア 岡智子

わたしは、手話の先生や先輩方に「もっとろう者（注）と会話しなさい、それが上達する一番の道なのよ。」とよく言われました。その度に私は「今のままの私ではだめ。もっと手話が上手になってから。」と思っていました。

ある日、手話の恩師であるみ先生（ろう者）がこんなお話をしてくれました。

先日、焼き鳥が食べたくなり、立川に買い物に行きました。私は耳が聞こえないので、紙に鳥モモ〇本、ネギま〇本と欲しいものをメモ書きにしました。そしてそのメモ書きを、焼き鳥屋にいるイケメンの店員さんに渡しました。するとその店員さんは焼き鳥の入った袋とお釣りをくれた後、『ありがとう』という手話をしたのです。私は驚いて、「手話ができるの？」とたずねると、「いいえ、出来るのは『ありがとう』だけです」とのこと。でも、その『ありがとう』だけでも、私はとっても嬉しかった。覚えた手話を使おうという店員さんの気持ちが嬉しかったのです。という先生のお話でした。

私はそのお話を聞いて、上手い下手では無い、伝えようとする気持ちが何より大切なのだと解りました。日本語を学ぶ学習者の皆さんも、私みたいに「もっと上手になってから」とは思わないでくださいね。覚えた日本語は、サロンでどんどん使ってみましょうね。

今、学習のペアの王さんと、2時間の学習の中で10分ほど「手話コーナー」を作っています。手話を日本語で説明するので、日本語と手話、一度に2つの言語を習得する試みです。毎週少しずつでも、秋頃には王さんが日本のろう者と会話が出来ますように。そんな希望を持っています。

最後に手話『ありがとう』を紹介します。この手話は、お相撲さんが賞金をもらう時の手刀をきる動作から生まれました。

サロンの皆さん、いつもありがとう。

（注）ろう者とは、耳の聞こえない障がいを持つ人のことです。



しゅわ ひょうげん
手話で表現する「ありがとう」



こうしゅうかいほうこく 「スキルアップ講習会報告」～第1回～

こくごきょういく にほんごきょういく ちが かんが
「国語教育と日本語教育の違いを考える」

こうし かわさきまさよせんせい
講師: 柏崎雅世先生

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ
研修部会 萱生由美子

今年度初の現ボランティア対象の講習会は 39名が参加して5月19日（土）に行われました。上記のテーマは日本語を教える上の基本中の基本です。

まず先生から二つの教育の、対象者、教育に用いる言語（媒介語）、教育の場（どこで、どのような組織で）の違いについて説明がありました。

そして、『みんなの日本語I』と小学1年生の国語教科書を比べながら、それぞれの最初の部分について、使われている名詞、動詞、形容詞、その他の表現の項目の欄に該当するものを記入する作業を行いました。

後半に、それぞれの教科書の語彙、文法形式などの扱いについて、その特徴をグループで検討し発表しました。皆さんが気づいた両方の特徴は以下の通りです

『みんなの日本語 I』

- 生活に必要な名詞から入っている。
- 1～3課は名詞とその他の表現のみ。
- 4課から動詞(ます形)が出てくる。生活の基本になる動詞から入っている。
- 5、6課も動詞(ます形)のみ。
- 成人に必要な「丁寧形」が使われていて、すぐに話ができるように配慮されている。
- まず自分のことが言えて、それから他者との関係が言えるようになるよう構成されている。

『国語教科書』

- 最初から「詩」の表現が出てくる。助詞が省略されている(助詞が使えることが前提)。
- 子ども向けの語彙(成人はそのまま使えない)。
- 「詩」の中の太陽が擬人化された表現は外国人に説明するのが難しい。
- オノマトペ(擬声語、擬音語、擬態語)が多いので外国人には難しい。

最後に「国語教育」は日本人としてのアイデンティティの育成を目指すものであり、「日本語教育」はコミュニケーションのツール(道具)であることの説明がありました。

この様に分析し、比較してみると、小学1年生の国語教科書が外国人にはとても難しい教材で、特に入門レベルの人にとっては難解であることがはっきりわかりました。



みな 皆さんよろしく◇学習者紹介

くぼた 久保田サンサニー さん(タイ)



えんきよりれんあい 「遠距離恋愛でした」

サロンには2015年5月、来日2か月後から来て日本語を勉強しています。ニックネームの「ピンポンさん」として皆さんに親しまれています。生まれた時ピンポン玉みたいに小さかったので、お母さまがそう呼ぶようになったそうです。

バンコクの大学で会計学を勉強してから、オーストラリアの大学院で会計学の修士課程に入学する前に、語学学校で英語を勉強しました。そこでご主人となった久保田さんに逢いました。

RMIT Universityで二人とも勉強しましたが、彼は先に日本に帰り、大学の続き、大学院へと進学していました。サンサニーさんも卒業してから、バンコクにある日本の会社で働いていましたので、結婚するまでは、いわゆる遠距離恋愛でした。

お兄さんと弟さんの3人兄弟ですので、ご両親も一人お嬢さんのサンサニーさんに逢いに時々日本にいらしてくださるそうですし、先日は3か月間サンサニーさんがタイへ帰り親孝行をしてきたとのことでした。

趣味はお料理で、ご主人の好きなタイ料理kapawや、日本の肉じゃが、豚の生姜焼きなどを作っています。そして毎日ご主人のお弁当を作っている良き奥様でもあります。(堤林)

かんおん ひび
「漢音の響き」

きんようよる わだ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田泰弘

ある病院でのこと。「たかぎさん」、「たかしろさん」の呼びかけに返事がなく、暫くすると、女性のほうが「私だと思ひますが、たかじょうです。たかいに、おしろですよ。」と名乗り出ました。その方の名字は「高城」さんだったのです。

日本人の苗字の多くは、「田中」「鈴木」のように訓読み（大和ことば）の組み合わせで発音する一方、「高城」「江藤」のような湯桶読み（訓読み+音読み）、「新川」のような重箱読み（音読み+訓読み）、さらには音読み（漢音）が重なった「近藤」などの読み方があります。

遠いはずですが、小学生のとき通っていた学習塾に、学校が違ふ坂井満鉄くんという友だちがいました。彼の仲間や先生は、「まんてつ！」と呼んでいましたが、そう呼ばれると本人はいつも目をしばたかせ戸惑いの表情を浮かべていました。ある日、彼に名前の由来を尋ねると、戦時中満州鉄道に勤めていたお父さんが、満鉄の象徴、特急「あじあ号」に因んで「満鉄」と名付けたとのことでした。「ほんとうの読み方は『みつかね』なんだ」ということも教えてくれました。それからは、私は彼を「みっちゃん」と呼ぶようにしましたが、その後、同じ中学に進み、「みつかね」くんは、仲間からは相変わらず「まんてつ！」と呼ばれていました。

高校3年のときの担任は、出欠を取る際、必ず名前を漢音で呼び、半分はそれを茶化す気分、あとは面白半分で、クラスでは名前を漢音で呼び合うのが常でした。私は「たいこう（泰弘）」で、太閤秀吉のようどこか偉くなったような気分にもなりました。井上雅博くんは「がはく（雅博）」、やまだ文雄くんは「ぶんゆう（文雄）」だったり、漢音読みにする、どこか厳肅でどっしりとした響きがありました。「まんてつ」に顔を曇らせていた「みつかね」くん、いまは何と呼ばれているのだろうか。

「しか、だけ、どっちだったかなあ…」

学習者のみなさん、「しか」と「だけ」のどっちを使った方がいいのか、困ったことはありませんか。下の1～4は、子どもが本を読むときに、親が子どもに説明をしている文です。それぞれ4つの文の（ ）には、下の□の欄のどのことばが入るでしょうか。文のしたにある説明に合うように選んでください。ボランティアの先生と一緒に考えてみましょう。

- 「この本（ ）読みなさい。」
（ほかの本はどっちでもよい）
- 「この本（ ）読みなさい。」
（ほかの本は読んではいけない）
- 「この本（ ）読んではいけません。」
（ほかの本は読んではいけない）
- 「この本（ ）読みなさい。」
（ほかの本も読まなくてはいけない）

も・しか・は・だけ

*答えは8ページにあります。 (編集部)



「ボランティア・スキルアップ講習会」

5月に続く、第2回目のボランティア・スキルアップ講習会のお知らせです。今回は、「学習者のニーズ把握とニーズに合った教材選び」というテーマのもとに、学習者が日本語の何を学びたいかという目的を引き出す具体的な方法、またその目的に沿った教材をどのように選ぶかを、前回と同様、柏崎雅世先生が講義をして下さいます。

テーマ：「学習者のニーズ把握とニーズに合った教材選び」

日時：6月16日（土）午後2時～4時

場所：サロン3階・第2会議室（学習会の部屋）

対象：サロン・ボランティア（学習者も可）

参加費：無料

★参加される方は、サロン事務局にある申し込み用紙にお名前をご記入ください。（研修部会）

～国際ふれあい会～

「わたしのふるさとを語る」

ボランティアと市民を交えて、学習者が自分のふるさとの魅力を紹介する「国際ふれあい会～わたしのふるさとを語る」は、今年で6回目を数えます。今年、タイと中国の学習者がそれぞれ、ふるさとの話を語ってくださいます。

参加者：小野アムパさん（タイ）

胡佳さん（中国）

日時：7月7日（土）午後2時～4時

場所：「プラッツ」第5会議室（ルシーニュ6階）

参加費：200円

定員40名：（ボランティア・学習者・市民）

★参加される方は、サロン事務局か企画部にお問い合わせください。（編集部）

若い人は「就活」高齢者は「終活」。
暑い日にリクルートスーツを着ている「就活」の若者を見ると、「がんばって！」と心の中で応援しています。

さて、高齢者の私の「終活」第1弾は、車の運転を辞めること。昨今高齢者の運転事故に世間の批判が厳しくなっているので、思い切って辞めることにしました。

そのきっかけは、大雪の翌日学習者さんと第三小学校に行くのに車が出せず、駅まで20分間歩いた事でした。雪道を転ばないように歩いたので、30分かかったかも知れません。それで車がなくても駅まで行ける自信がつかしました。

おまけに、アップルウォッチ（ウェアラブル端末）が、良く体を動かしたと、誉めてくれたのです。それ以来歩くのが楽しくなり、駅に行かない日も、買い物など車を使わないようにして3か月が過ぎたので、いよいよ今月末車を手放すことにします。
（堤林）

★「くろすろーど・ワンポイント学習」の答え

1. 「は」 2. 「だけ」 3. 「しか」 4. 「も」



【編集】会報部会/和田、堤林、岩城、増田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>